



2021年5月25日  
J & T 環境株式会社

## 「株式会社バイオス小牧 食品バイオガス発電所建設工事」 起工式の実施について

J&T 環境の中京地区で初となる食品バイオガス発電所の建設工事が開始

J & T 環境株式会社（社長：露口哲男、本社：神奈川県横浜市）では、子会社である株式会社バイオス小牧（本社：愛知県名古屋市）により中京地区初となる食品リサイクル・バイオガス発電事業の事業化を目指しているところですが、このほど、5月25日に愛知県小牧市において、食品バイオガス発電所建設工事のための起工式を開催しますので、お知らせいたします。

（食品バイオガス発電事業会社を子会社化については、2021年1月18日にお知らせ済）

小牧市におけるバイオガス発電施設の整備並びに食品リサイクル及び再生可能エネルギーの利用の促進については、小牧市と株式会社バイオス小牧の間で2017年に立地に関する基本的な協定が締結されております。特に市内発生<sup>しもすえ</sup>の食品廃棄物については、現在大半が焼却処理されているところですが、新設される当施設を活用しバイオガス発電を行うことで、新たに食品廃棄物の再資源化が促進され、廃棄物の減量化及び資源の有効利用を図ることが期待されます。

建設地は小牧市内、東名・名神高速道路小牧インターチェンジから東に5キロほどの地点に位置する<sup>しもすえ</sup>下末工業団地内に立地。一日最大120tの食品廃棄物の処理過程で発生するメタンガスを燃料にバイオガス発電を行います。発電出力は最大1,100kWで、年間想定発電量は最大9,200MWh（一般家庭約3,000世帯分）を見込んでおり、2022年度秋頃の営業運転開始を目指します。

J & T 環境株式会社が行う食品バイオガス発電事業<sup>1</sup>としては5カ所目<sup>2</sup>。中京地区では初となります。当社では今後も、地産地消型の再生可能エネルギー発電事業を推進し、脱炭素社会づくりに貢献して参ります。

<sup>1</sup> J & T 環境株式会社ウェブサイト「セールスサイト：食品廃棄物リサイクル」参照 <https://sales.jt-kankyo.co.jp/business/food.html>

<sup>2</sup> 千葉バイオガスセンター、Jバイオフードリサイクル、札幌バイオフードリサイクル、東北バイオフードリサイクル（2022年3月完成予定）に続き5カ所目

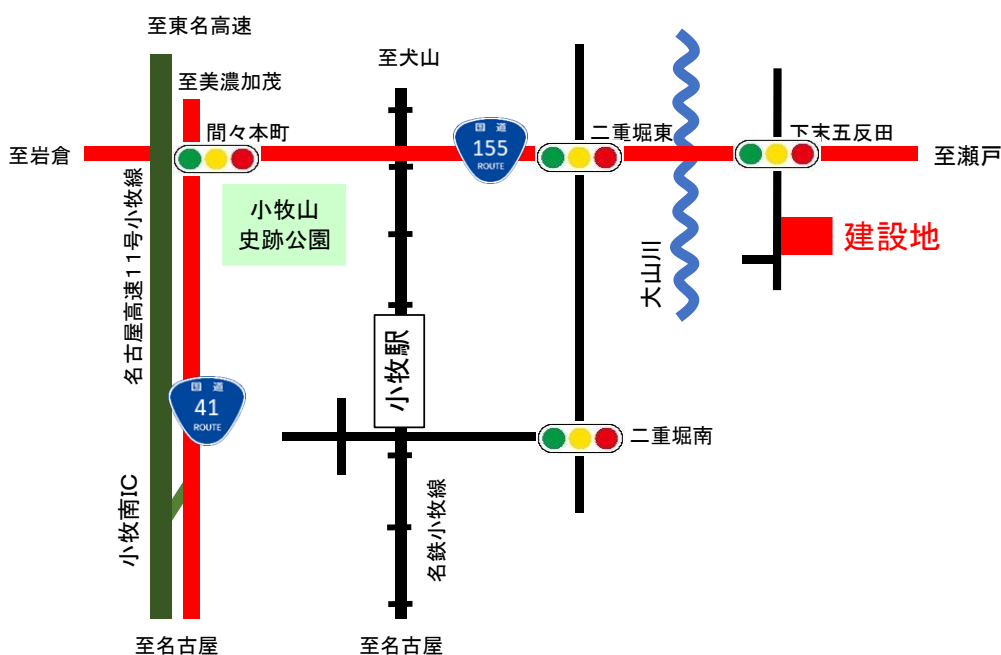
## ■ 株式会社バイオス小牧 食品バイオガス発電所 建設工事概要

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 施主   | : 株式会社バイオス小牧   |
| (2) 元請会社 | : 野里電気工業株式会社 (本社 大阪市西淀川区)                              |
| (3) 建設地  | : 愛知県小牧市大字下末字野本 398 番他 (下末工業団地内) 約 3,737m <sup>2</sup> |
| (4) 工期   | : 2021 年 5 月~2022 年 11 月末                              |
| (5) 起工式  | : 2021 年 5 月 25 日                                      |
| (6) 取得許可 | : 小牧市/一般廃棄物処分業、愛知県/産業廃棄物処分業 (予定)                       |
| (7) 操業開始 | : 2022 年秋頃 (予定)  |

## ■ 施設完成予定図



## ■ 案内図



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。  
J & T 環境株式会社 総務部 総務室 TEL : 044-330-9472